

令和7年度(2025年度)
滋賀県高等学校秋季総合体育大会
テニスの部

28

主 催
滋賀県高等学校体育連盟

主 管
滋賀県高等学校体育連盟テニス部

日 程
令和7年11月1日(土)～11月3日(月祝)
11月6日(木)～11月8日(土), 予備日なし

種 目
個人戦 男子シングルス・女子シングルス
個人戦 男子ダブルス・女子ダブルス
団体戦 男子・女子

会 場
男子 大津市大石緑地スポーツ村
女子 大津市大石緑地緑地スポーツ村・守山市民運動公園

競技役員
大会会長 岸 智 昭
大会委員長 田 中 俊 夫
競技委員長 砂田 知 也
競技副委員長 澤 高 遠 安藤 悠 矢

レフェリー
アシスタントレフェリー

[男子] 坂田 和 章 澤 高 遠 弘 中 達 基 江 副 正 貴 栗須谷 有 起 野 村 正 樹 小 泉 憲 生

[女子] 米 満 理 子 吉 田 節 子 四 元 栄 治 竹 端 紀 子 梅 木 功

報道責任者 磯田 拓 人 村 川 学

大会役員
各校顧問

試合参加人数
[男子] シングルス 178名、ダブルス 109組、団体 14校
[女子] シングルス 143名、ダブルス 69組、団体 11校

競技日程(予定)

2025	11月1日(土)	11月2日(日)	11月3日(月祝)	11月6日(木)	11月7日(金)	11月8日(土)
男子	団体戦 1R～F (順位戦)		・シングルス予選 ・団体戦(残り試合)	・ダブルス予選	・シングルス本戦	・ダブルス本戦
会場	大石緑地スポーツ村					
女子	団体戦 1R～F (順位戦)	・シングルス予選 ・団体戦(残り試合)		・シングルス本戦	・ダブルストーナメント ・シングルス本戦 (残り試合)	・ダブルストーナメント (残り試合)
会場	大石緑地スポーツ村			守山市民運動公園		大石緑地スポーツ村

大会補助員
[男子] Bブロック校各部員生徒
(水口東 栗東 国際情報 守山北 石部 日野 守山 近江兄弟社)
[女子] Bブロック校各部員生徒
(光泉カトリック 栗東 国際情報 石部)



注意事項

1. 各校のキャプテン（代表者）は出席を定刻までに本部に届けること。
届がない場合、出場辞退と見なす。時差集合の場合は本部の指示を確認すること。
2. 競技進行はオーダーオブプレイ表（本部掲示）で行う。ただし、変更のある場合もあるので十分注意すること。 *オーダーオブプレー（試合順序）
3. 競技進行の状況により、競技日程等を変更することがあります。
4. 個人戦の審判は初戦のみセルフジャッジで、それ以降は敗者審判(S.C.U)で行う。団体戦の初戦は相互審判(S.C.U.)、それ以降は敗者審判(S.C.U)とする。
シングルス戦では、各校から1名のボールパーソン配置に協力すること。
5. 試合前の練習は、本戦の初対戦（女子ダブルスは4R）は3分以内とし、それ以外は4本サーブのみとする。
前の試合終了後、すみやかに始めること。
5. 試合前の練習は本戦初戦は3分以内とし、それ以降は4本サーブのみとする。
前の試合終了後、すみやかに始めること。（3分以内）
但し、個人戦の予選（女子ダブルスは1R～3R）は促進ルールを採用する。
（ノーアド、サーブ練習あり）
予選、本戦ともにノーレット制を採用する。
7. 試合の勝者は新しいボール（使用球ウィルソ U.S. Open Extra Duty)を持って、ただちに試合結果を本部に報告すること。（試合球はすべて各校で用意すること。）
8. 競技中の服装は 全国高体連の服装規定に準ずる。
ただし、天候等の状況により変更する場合がある。
監督も選手の服装規定に準ずることを原則とする。その他別に定める本専門部の規定（アクセサリ類・携帯電話等の禁止）を守ること。
9. 団体戦の監督によるコーチングは、チェンジエンド時のみベンチで行うことを認めるが、90秒以上にならないように注意すること。
応援に関しても全国高体連の規定を順守すること。
（連呼など応援歌はウォーミングアップ時のみとする）
11. 他のルールについては（財）日本テニス協会発行「JTAテニスルールブック」に及び全国高体連の規定に準ずる。特に連続的プレー（25秒ルール）を守ること。
（ダブルスにおけるポイント間の打ち合わせが長くないようにすること。）
12. 秋季大会の当番校は次の通りである。当番校は競技運営、準備、後始末をしっかりと行い、競技終了前に帰校しないこと。

〔男子〕	Bブロック校各部員生徒 (水口東 栗東 国際情報 守山北 石部 日野 守山 近江兄弟社)
〔女子〕	Bブロック校各部員生徒 (光泉カトリック 栗東 国際情報 石部)
13. 会場ではごみをすべて持ち帰ること。
14. 会場内およびその周辺でのボールを使用した練習は一切禁止する。
15. 会場までの交通機関内では他の乗客の迷惑にならないように注意すること。なお、不正乗車等絶対にないようにすること。